

平成25年度 志教育全体計画

H25. 2.6
宮城県古川高等学校

校 訓
質実剛健 学問尊重 自主自律

本校の教育目標
<p>教育基本法及び学校教育法に定められた高等学校教育の目的並びに目標を達成するために、本校として次の目標を定める。</p> <p>① 健全な心身の育成 質実剛健の精神を涵養し、清潔にして健全な品性を備えた互いに信頼し合う誠実な人間を育成する。</p> <p>② 真理の探究 学問尊重の気風を興し、自発的学習意欲を高め、謙虚に真理を探究する態度と適正な判断力を養う。</p> <p>③ 主体性の確立 自主自律の精神を養い、自己の能力の伸長に努め、広く社会に貢献できる人材を育成する。</p>

本校のスクールアイデンティティー
高い志の下、文武両道に努め、主体的に自己実現を目指す

「志教育」の目標
<p>1 将来の夢実現のため、社会から信頼される誠実さと品性を養う。</p> <p>2 真理の探究を通して文化の発展に寄与しようとする精神を養う。</p> <p>3 社会の発展のため、身につけた能力を積極的に生かそうとする心を育てる。</p>

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<ul style="list-style-type: none"> 学校生活の様々な場面で円滑なコミュニケーションができるようその能力を高める。 ホームルームや生徒会、部活動などにおいて自分の立場や役割を確認し、協力・協調しながらよりよい組織を作ろうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間における自己探求やオープンキャンパスへの参加、また出前講座などを通して、自分の適性を理解させ、将来の職業とその実現を目指す進路について主体的に考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全への呼びかけや学校周辺の清掃、また募金活動などを通して、社会に参加することの大切さを学ばせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	<p>○国語</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来就くべき職業や目指すべき上級学校の学部・学科等を自身の力で選択する力を身に付けるために、広く基本的な知識を習得するとともに、「なぜ学ぶのか」ということを念頭に、学習内容の将来への結び付きを意識した学習活動を行う。また学習を通して様々な価値観に触れることで自己の生き方を探究したり、社会についての理解を深めることで、職業や仕事への関心・意欲を高める。 <p>○地理歴史・公民</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史、文化、生活についての理解と認識を深め、平和で民主的な国家の有為な形成者の育成を目指す。 現代社会の諸問題に対し、主体的に問題意識を持ち、日本国民としての資質の育成を図る。 国際社会の中で生きる日本国民として、他国の文化と歴史に理解を持ち尊重できる態度を育成する。 <p>○数学・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の頭で考える力を育てるため、発問を工夫し生徒が考える時間をとる。 与えられた問題を解くだけでなく、いろいろなことに好奇心と疑問を持ち、自分で意味のある問題を作り上げることができる生徒の育成を目指す。 <p>○理科</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科における様々な実験、実習への取り組みをとおして、物事に対して多角的な視点や疑問を持ち、解決しようとする姿勢を育む。 実生活の中に見られる具体例を積極的に提示することで、理科をより身近に、自分自身が生きていることそのものであると捉えさせ、自発的な探究心や考察力、判断力を養う。 <p>○保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習態度を身に付けさせ、基礎・基本の定着を図り、ルールやマナーを心がける態度や周りとの協調性を養う。 <p>○芸術</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の個性を生かした創造的な活動を行い、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。 芸術としての音楽を理解し、音楽文化についての理解を深め尊重する態度を養う。 <p>○英語</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を通じたコミュニケーション能力を高めながら、様々な社会問題を捉え、国際社会に貢献できる人物を育成する。 <p>○家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己、家庭、社会とのかかわりについて理解させ、生涯の見通しをもって、よりよい生活をおくるための知識・技術の習得と共に支え合う社会の一員として主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

各教育活動における取組の観点	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着により、互いに信頼し尊重しあえる人間力を育成する。 規範意識や実践力を高め、公正な立場で社会に対し積極的な貢献ができる力を養う。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 職業研究に基づき、関心のある学問を詳細に調べ進路研究を進める。また、その研究成果を発表し、プレゼンテーション能力を高める。 出前講座で大学での授業の一端に触れ、将来の職業に対する意識を高める。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ホームルーム、生徒会活動、学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としての意識や集団への所属感、また連帯感や公共精神などを育成し、集団の中で自己実現を図ろうとする姿勢を育てる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 部活動を通して、集団生活における規律と円滑な人間関係を体得させる。

各学年の取組内容	
1年	<ul style="list-style-type: none"> 入学後の初期指導における学習方法、生活面、古高生のプライドの育成。 職業研究・学問研究を中心にした進路探究。 進路講演会の開催。 LHRの時間を利用した地域奉仕活動。 朝自習のコラムの時間で、社会を見る視点を養う。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 授業をはじめ、様々な学習活動・特別活動をとおして、社会の構成員であるという自覚を深めさせながら、自分の未来に一定の方向性を見出せる生徒の育成を図る。 総合的な学習の時間・進路講演会・大学訪問・大学出前授業をとおして、「夢」を単に夢のまま終わらせることなく、2年後の自分の姿を具体的に語れる生徒の育成を図る。 蛍雪講座・課外学習・模擬試験などをとおして、自分に求められている学力の水準を知ると同時に、確かな学力を身につけるべく、不断の努力を惜しまない生徒の育成を図る。 卒業生の合格体験談などをとおして、所謂「受験勉強」の実際について理解を深め、次年度を待たず、今から一步を踏み出せる生徒の育成を図る。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望実現への具現化（計画立案、到達目標設定） 面談活動による進路希望の確認と激励 面接及び小論文指導

家庭との連携
<ul style="list-style-type: none"> P.T.A活動の活性化を図り、生徒の将来設計と進路実現を保護者が強力に支援できる体制を整える。

地域・企業との協働
<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員による生徒への期待・要望や、地域で様々な活動に取り組む方々の講話などを通して、望ましい職業観や勤労観を育成する。

